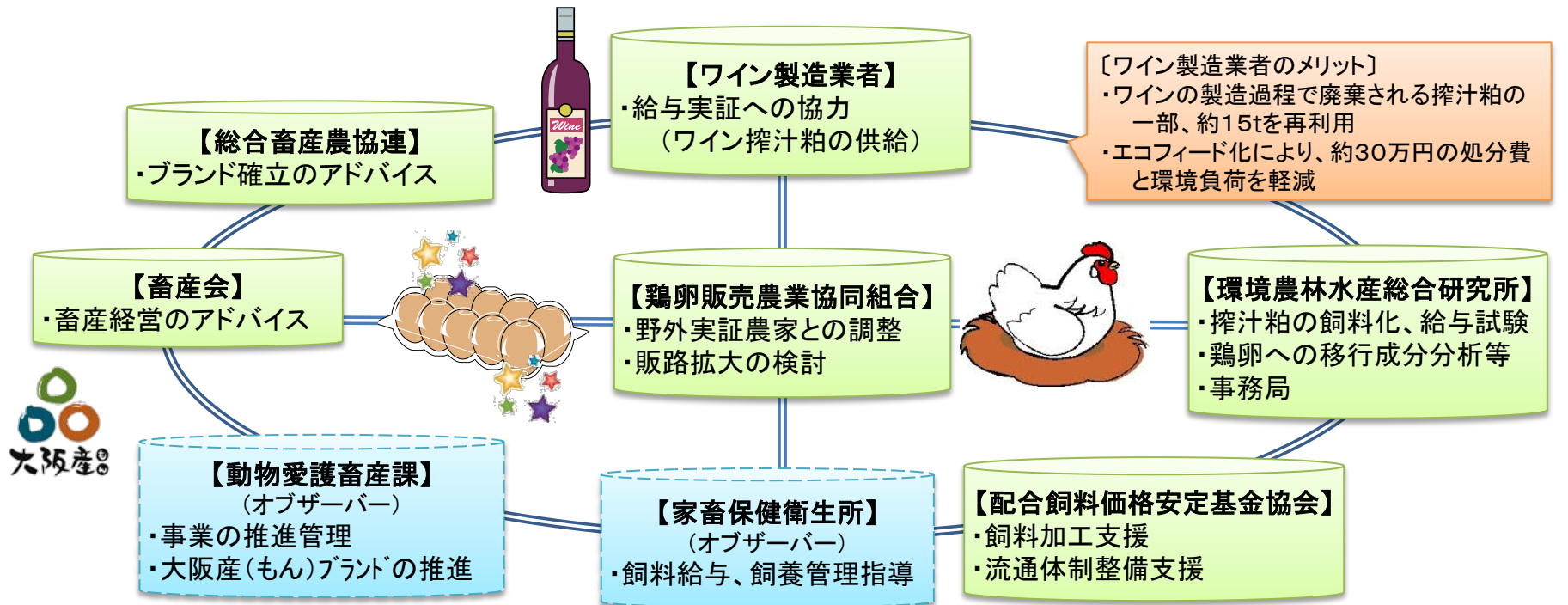


府内の畜産関係者が連携した畜産クラスター事例⑥ 大阪府

『大阪府未利用資源活用養鶏協議会』

府内ワイン製造業者の協力を得て、ワイン搾汁粕をエコフィード化し、新たなブランドたまごを創出。付加価値向上と販路拡大を図るとともに、産業廃棄物を減少させ、環境負荷の軽減を実現



(実証内容)

- △ ワイン搾汁粕の飼料化、給与試験を行い、産出された鶏卵の成分分析、販路の検討により付加価値の効果を実証
- △ この結果を踏まえ、府内養鶏家へワイン搾汁粕の利用を普及

(府内養鶏への効果)

- △ 地域ブランド創出による付加価値の向上
- △ 「ワインたまご」としての販売による収益性向上とワインとの共販による地域収益性の向上
- △ 未利用資源の活用による環境負荷軽減とCSR

(地域の収益性向上)

- △ 1,110万円の収益増(試算)
- ブランドたまご供給量54t×付加価値+200円/kg = 1,080万円
- ワイン製造業者のメリット: 30万円